

事業名	対話活動費			調査番号	3
細事業名	県民との対話費	財務コード	003601		
担当部課室	総合政策 部 広聴広報 課 広聴 担当 (内線)	1452			

事業の概要

実施期間	始期 H27 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県民	その対象をどのような状態にして 知事との意見交換を通じて、県政に対する理解と関心を高める。	結果、何に結びつけるのか 県民参加による県政の推進
	内容 県民とともに創る県政を推進するため、県民と知事が直接、県の現状や将来あるいは県政全般の諸施策などについて意見交換を行う。 実施方法 (対話形式)知事が県民のもとに向く訪問対話 (規模)概ね20人程度 (対話時間)2時間程度 (公開)開催概要をホームページに掲載		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	開催回数(回)	目標				9	12	12
		実績(見込)				8	12	12
		達成率				89%	100%	100%
		達成区分				b	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円					306	456	789	796

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	参加者を対象としたアンケート結果では9割を超える方が満足するとともに、発言内容が今後の県政に生かされることへの期待を持っている。また、産前産後ケアセンターの利用方法の改善や、低栄養に関する内容を健康づくりや介護予防事業の中に組み込むなど、県民からの意見を施策に反映していることから、意図した成果をほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (県政について県民と知事が直接意見交換を行う機会、県の直接的関与は必要不可欠)
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	事業を継続し、さらに多くの県民に参加していただくことにより、県の施策や事業に対する理解と関心を高めることができる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(参加者の選定方法の検討)
その他	説明	さらに多くの県民に、県政に対する理解と関心を高めていただくため、部局別・分野別から選定している参加者の選定方法について検討する余地がある。
見直しの必要性	有	県の施策などについて、意見や提案が出されるなど活発で有意義な意見交換が行われており、県民の県政参加意識が高められている。今後は、参加者の拡大を図ることにより、より一層県民の理解や関心を高める必要がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	各部局単位のテーマ設定に加え、県民センターと連携して地域課題についても、より広く、多くの方々から意見を伺い、有意義な意見交換とする。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。